

チェルノブイリと福島 甲状腺ガン多発と避難問題を考える

東京講演会

3/2 (月) 13:00～ (通訳つき)

当日参加可!

「子どもの痛みをなくす」プロジェクトをウクライナで実施しているタチアナさんをお迎えして、さいたま市、郡山市で講演会が行われた後、3月2日(月)に、東京でも衆議院会館で講演会を行います。福島で、甲状腺ガンの子どもは、疑いも含めて112人に。ウクライナでの強制移住区域(5mSv/年以上)に相当する福島市、郡山市、伊達市、二本松市、本宮市より、もっと汚染のひどい福島県の避難指示区域に、政府は、避難している子どもたちを戻そうとしています。ウクライナでは低線量の汚染地域で、今、ガンだけでなく、頭痛、足痛、皮膚障害などの症状で、多くの方が苦しんでいます。タチアナさんは、29年前のチェルノブイリ事故当時は妊娠中。看護師ですが、自らも母として貴重な経験をされながら、ラトビアへの移住や、事故から6年後の強制移住を体験し、フランスの研究機関による甲状腺ガン調査にもかかりました。ウクライナの長い経験から今、福島で何が必要かを考えます。多くの方のご参加をお待ちします。



タチアナ アンドロシエンコ女史



阿部知子議員



山本太郎議員

講演会 タチアナ女史 シンポジウム

阿部知子議員(民主党、医師)…交渉中
山本太郎議員(生活の党と山本太郎となかまたち)…交渉中
ほか、甲状腺ガン専門医…予定

懇親会

会場：衆議院第一議員会館 多目的ホール

(国会議事堂前1番出口徒歩4分、
永田町1番出口徒歩4分)

資料代：1000円(定員300名)

